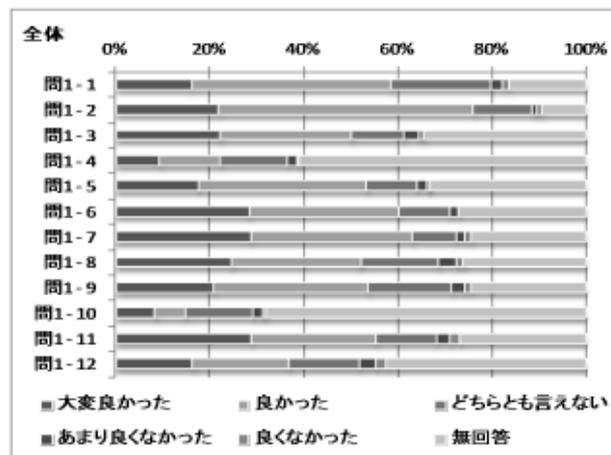
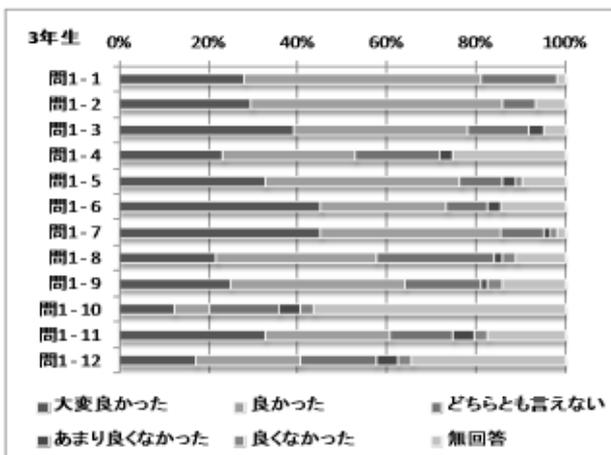
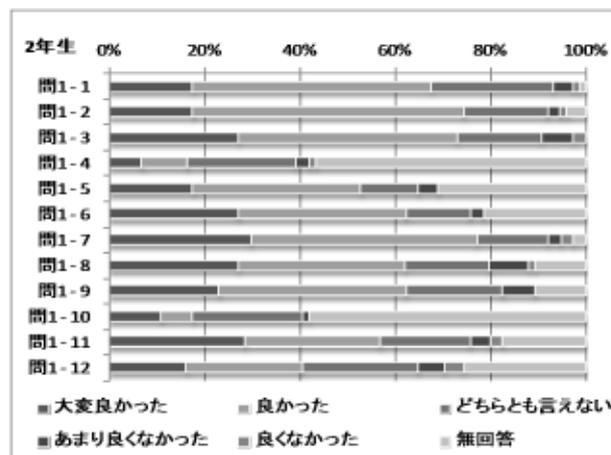
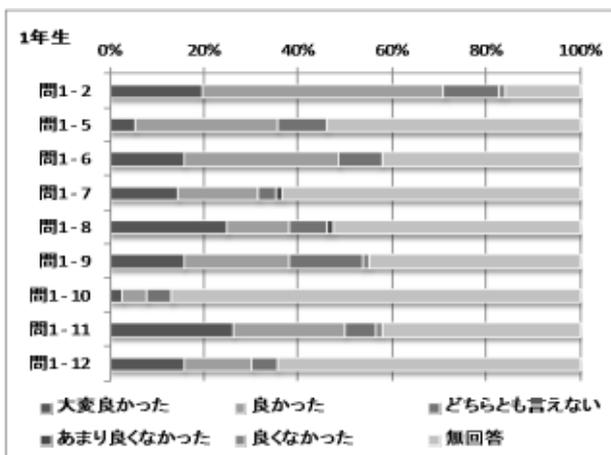


平成26年度 SSHに関する校内調査

A) 生徒意識調査

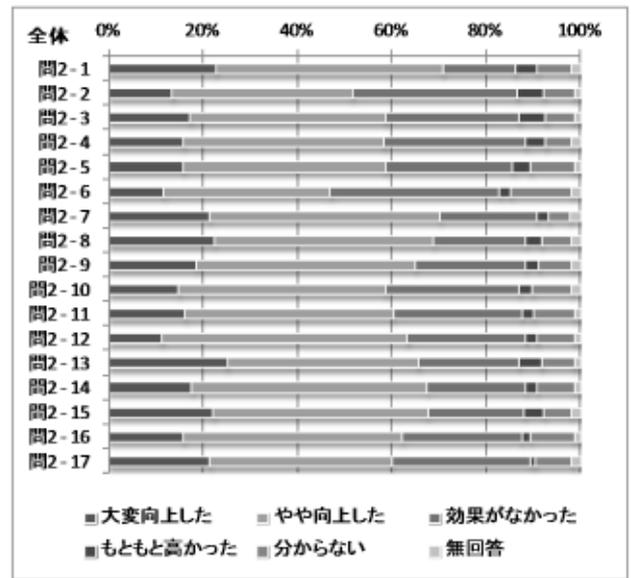
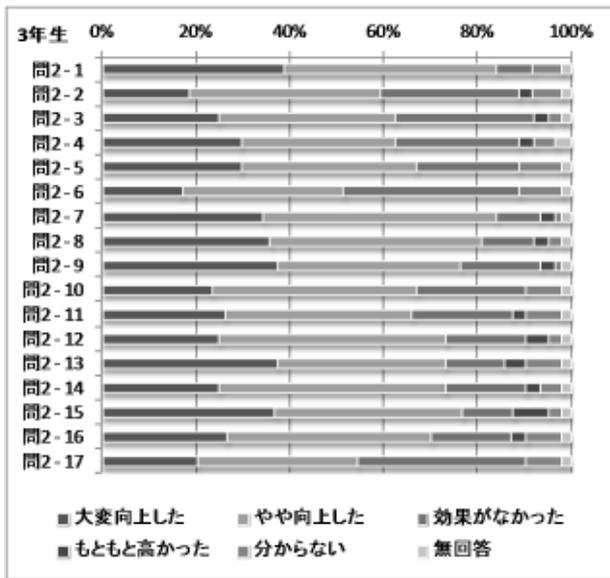
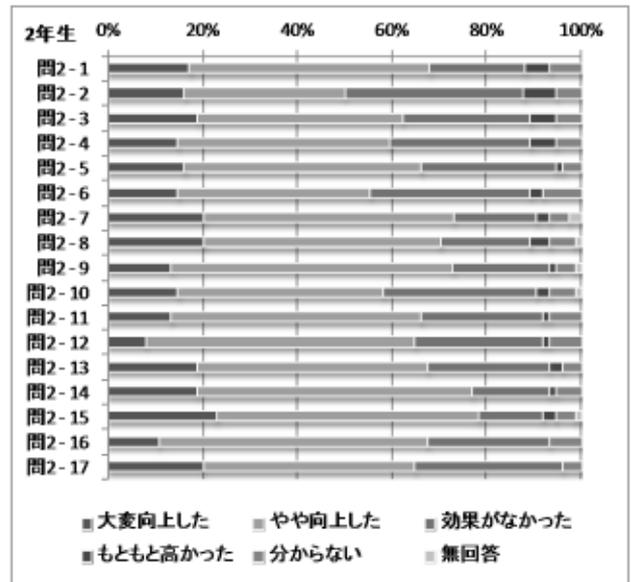
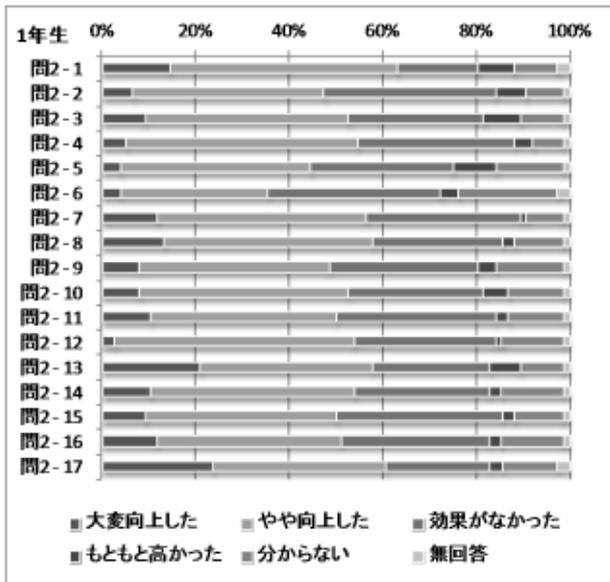
質問項目 1) 以下の取組のうち、参加した取り組みについてのみ答えてください。参加して良かったですか。

- (1) 科学者や技術者の特別講義・講演会 (和高専・東京学芸大学・京都大学・光科学研究所・JT 生命誌館など)
- (2) 大学や研究所、企業、科学館等の見学・体験学習 (京都大学瀬戸臨海実験所・光科学研究所・JT 生命誌館など)
- (3) 課題研究 (自校の教員や生徒のみとの間で行うもの)
- (4) 理数系コンテストへの参加 (5) 観察・実験の実施
- (6) フィールドワーク(野外活動)の実施 (白浜臨海・課題研究・クラブなど)
- (7) プレゼンテーションする力を高める学習(課題研究・総合学習・アジアフォーラムなど)
- (8) 英語で表現する力を高める学習(アジアフォーラム・デンマーク研修・課題研究など)
- (9) 他の高校の生徒との発表交流会(和歌山県生徒研究発表会・〈横浜〉生徒研究発表会・クラブなど)
- (10) 科学系クラブ活動への参加 (11) 海外の生徒との発表交流会(アジアフォーラム・デンマーク研修など)
- (12) 海外の生徒との共同課題研究(デンマーク研修・アジアフォーラムなど)

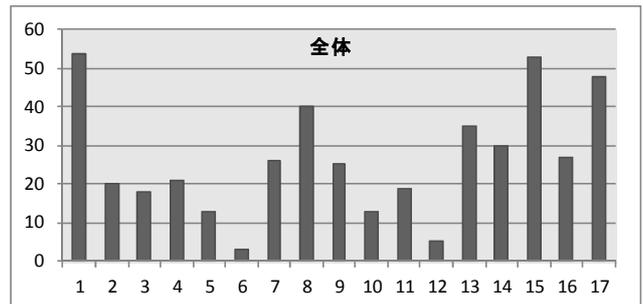
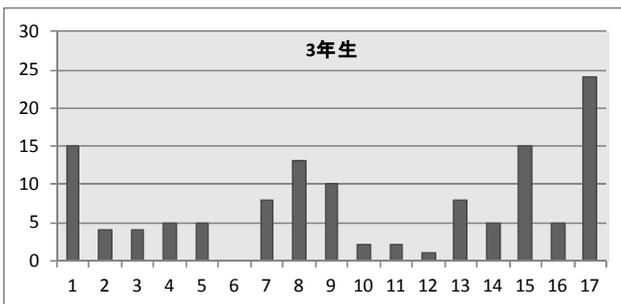
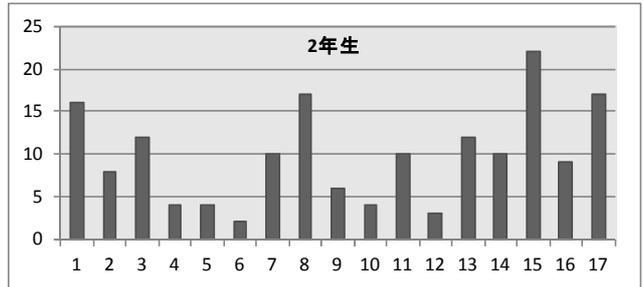
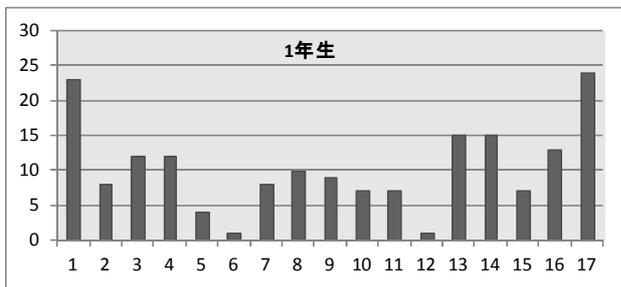


質問項目 2) SSHの取組に参加したことで、学習全般や科学技術などに対する興味、姿勢、能力が向上しましたか。

- (1) 未知の事柄への興味 (好奇心) (2) 科学技術、理科・数学の理論・原理への興味 (3) 理科実験への興味
- (4) 観測や観察への興味 (5) 学んだ事を応用することへの興味 (6) 社会で科学技術を正しく用いる姿勢
- (7) 自分から取組む姿勢 (自主性、やる気、挑戦心) (8) 周囲と協力して取組む姿勢 (協調性、リーダーシップ)
- (9) 粘り強く取組む姿勢 (10) 独自のものを創り出そうとする姿勢 (独創性)
- (11) 発見する力 (問題発見力、気づく力) (12) 問題を解決する力
- (13) 真実を探って明らかにしたい気持ち (探究心) (14) 考える力 (洞察力、発想力、論理力)
- (15) 成果を発表し伝える力 (レポート作成、プレゼンテーション)
- (16) 自然や歴史、問題点など、地域に対する関心と理解 (17) 国際性 (英語による表現力、国際感覚)



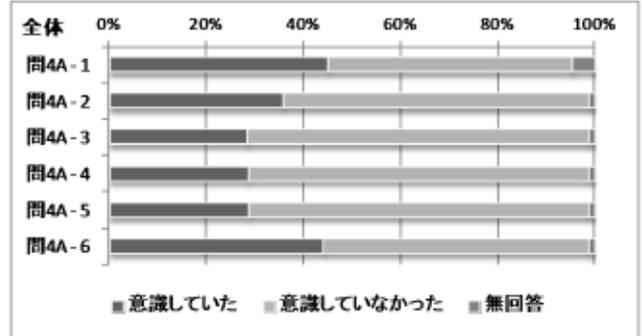
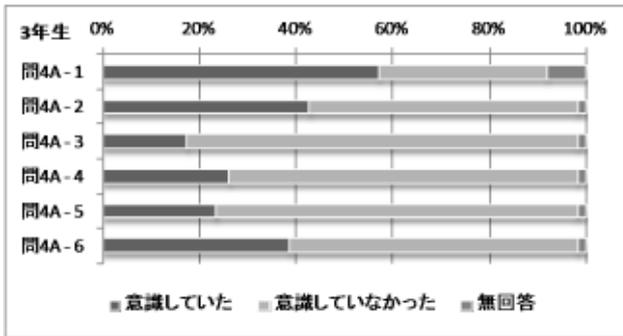
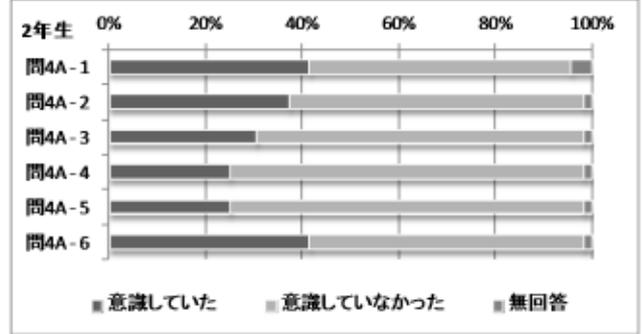
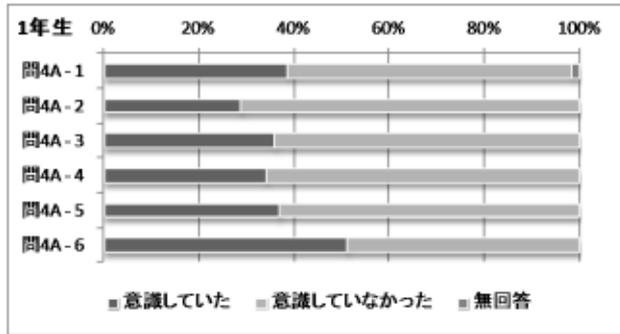
質問項目 3) 項目2の(1)～(17)のうちSSHの取組により最も向上したと思う興味、姿勢、能力は何ですか。



質問項目 4) 以下A、B の設問にお答えください。

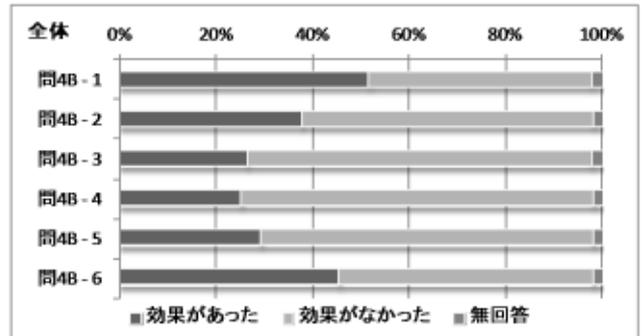
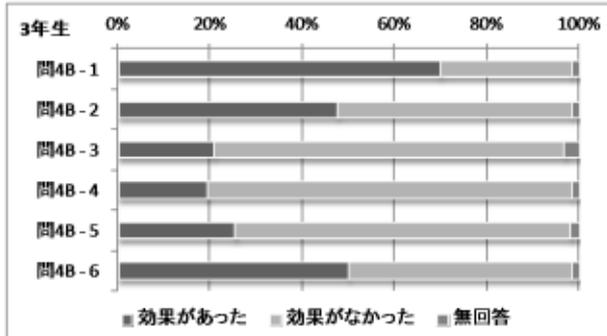
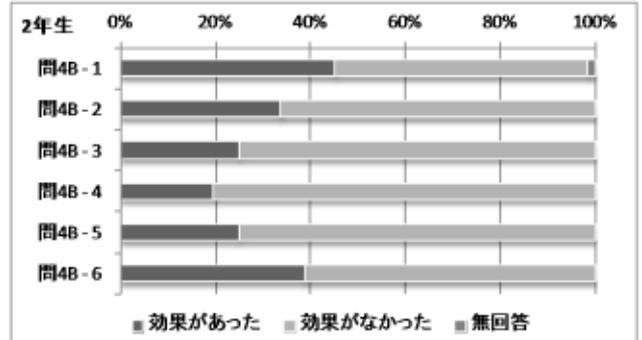
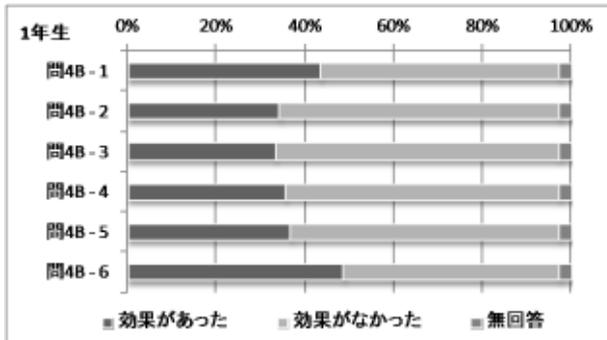
A. S SHの取組への参加にあたって以下のような利点を意識していましたか。

- (1) 科学技術、理科・数学の面白そうな取組に参加できる (できた)
- (2) 科学技術、理科・数学に関する能力やセンス向上に役立つ (役立った)
- (3) 理系学部への進学に役立つ (役立った)
- (4) 大学進学後の志望分野探しに役立つ (役立った)
- (5) 将来の志望職種探しに役立つ (役立った)
- (6) 国際性の向上に役立つ (役立った)



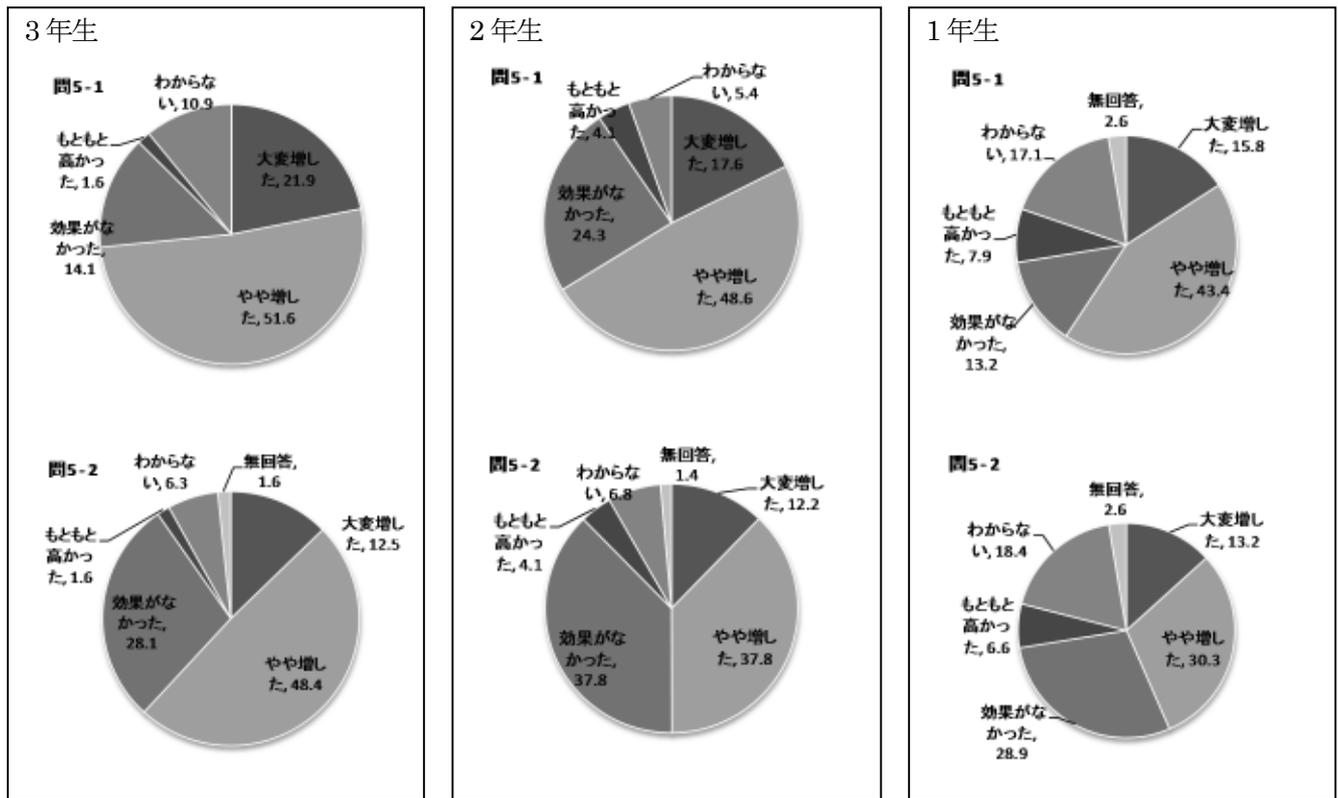
B. S SHの取組への参加によって以下のような効果はありましたか。

- (1) 科学技術、理科・数学の面白そうな取組に参加できる (できた)
- (2) 科学技術、理科・数学に関する能力やセンス向上に役立つ (役立った)
- (3) 理系学部への進学に役立つ (役立った)
- (4) 大学進学後の志望分野探しに役立つ (役立った)
- (5) 将来の志望職種探しに役立つ (役立った)
- (6) 国際性の向上に役立つ (役立った)



質問項目 5) SSHの取組に参加したことで、次の設問にお答えください。

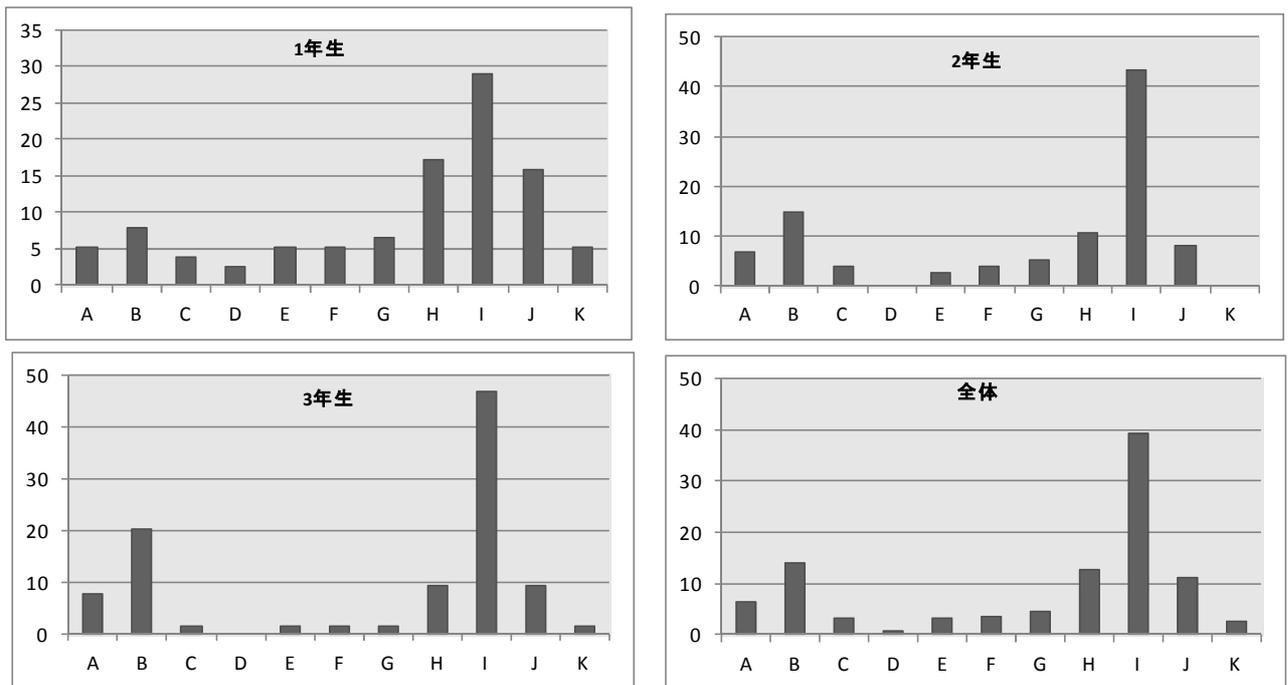
- (1) 科学技術に対する興味・関心・意欲が増しましたか。(回答は1つだけ)
 (2) 科学技術に関する学習に対する意欲が増しましたか。(回答は1つだけ)



(1. 大変増した 2. やや増した 3. 効果がなかった 4. もともと高かった 5. わからない)

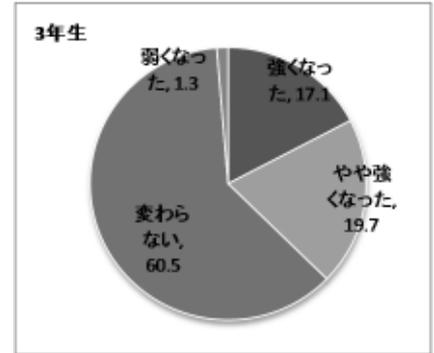
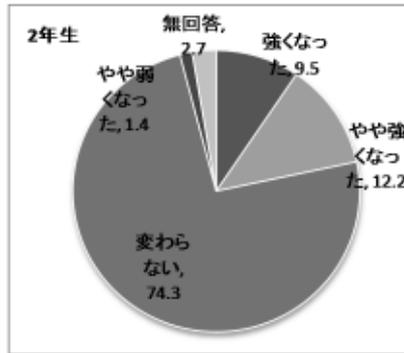
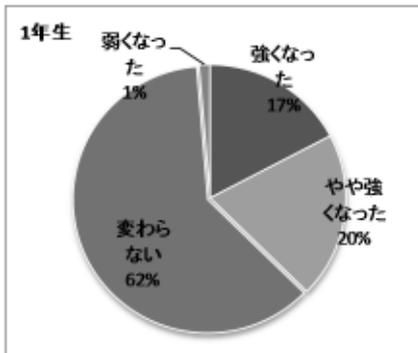
質問項目 6) 将来、どのような職業に就きたいと考えていますか。

- A 大学・公的研究機関の研究者 B 企業の研究者・技術者 C 技術系の公務員
 D 中学校・高等学校の理数系の教員 E 医師・歯科医師 F 薬剤師 G 看護師
 H その他理系の職業 I 文系の職業 J わからない K 無回答



質問項目 7) SSHの取組への参加によって、問9の職業を希望する度合いは強くなったと思いますか。(回答は1つだけ)

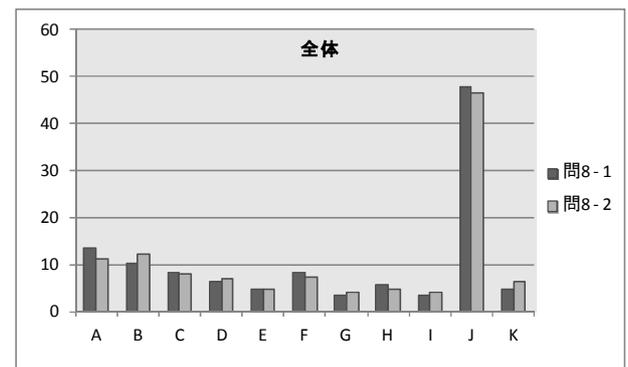
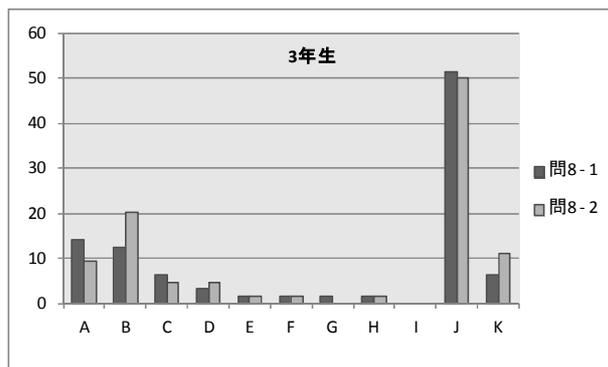
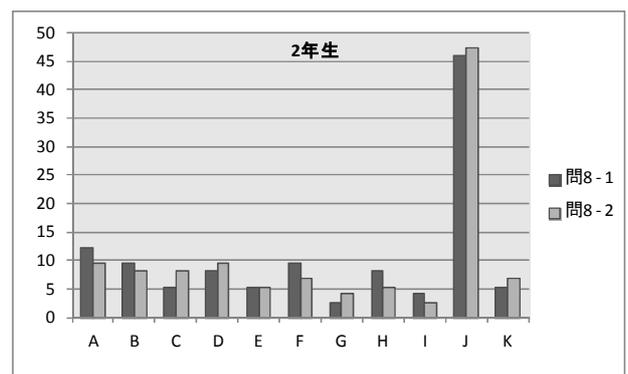
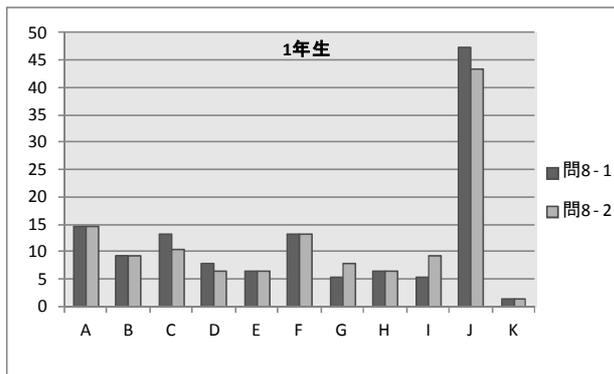
- (1. 強くなった 2. やや強くなった 3. 変わらない 4. やや弱くなった 5. 弱くなった)



質問項目 8) 大学進学する場合、専攻したい分野について教えてください。

- (1) SSHの取組に参加する前に、大学で専攻したいと考えていた分野はどれですか。(回答は2つまで)
 (2) SSHの取組に参加したあと、大学で専攻したいと考えている分野はどれですか。(回答は2つまで)

- A 理学系 B 工学系(情報工学) C 工学系(情報工学以外) D 医学・歯学系
 E 薬学系 F 看護系 G 農学系 H 生活科学・家政学系 I 教育学系(理数系)
 J 文系 K 無回答



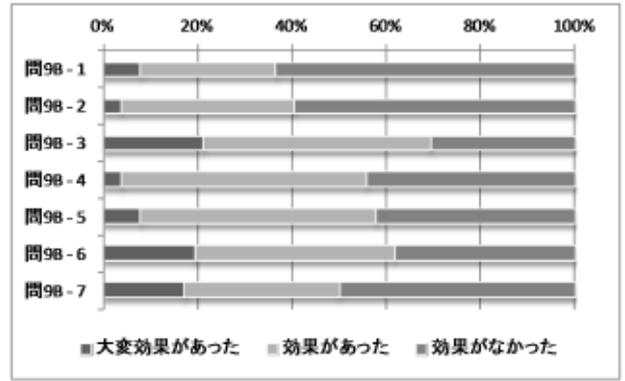
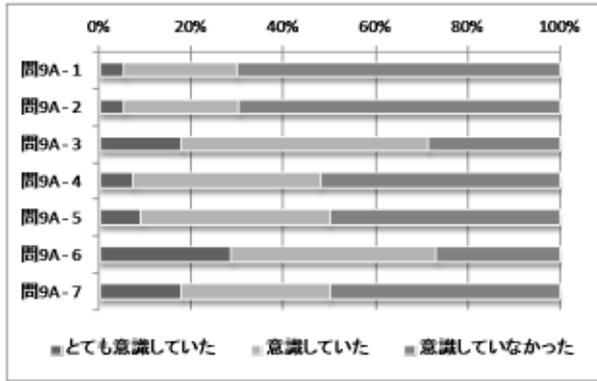
質問項目 9) (フォーラム委員でなかった生徒対象) アジア高校生フォーラムについて、教えてください。

A. アジアフォーラムへの参加にあたって、以下のような利点を事前に意識していましたか。

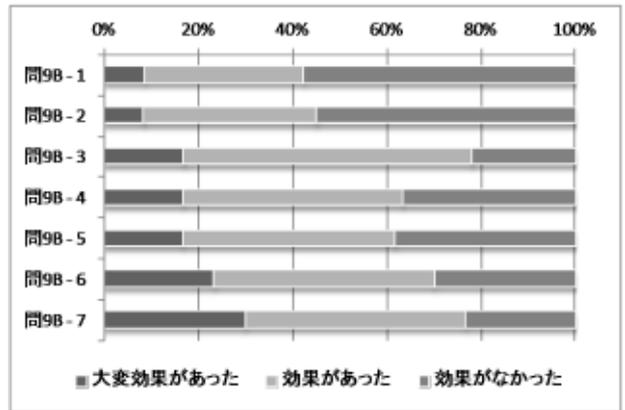
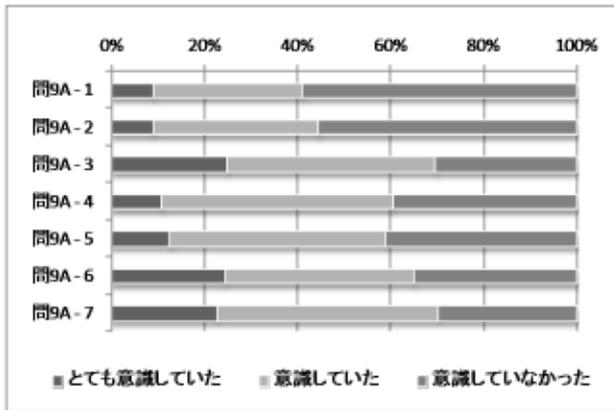
B. アジアフォーラムに参加した結果、以下の点で効果がありましたか。

- (1) 大学進学などの志望分野探しに役立つ (2) 将来の職業選択などについての指針が見つかる
 (3) 国際的な視野が広がる (考え方・世界観・倫理観など)
 (4) 地域の良さや問題点など自分たちを見直す契機になる
 (5) 海外の研究動向や社会動向等、情報収集の幅が広がる (6) 英語の活用能力が向上する
 (7) 学習意欲の向上につながる

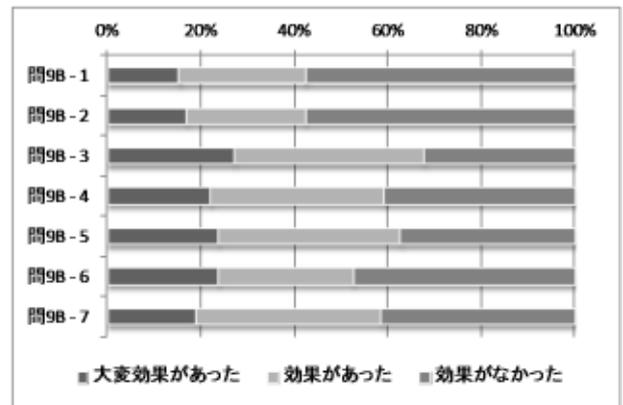
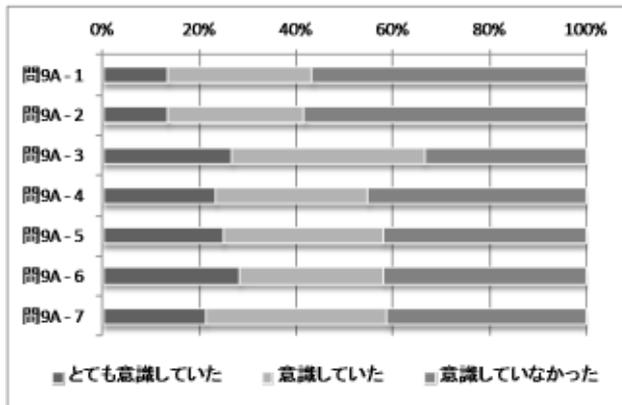
1年生



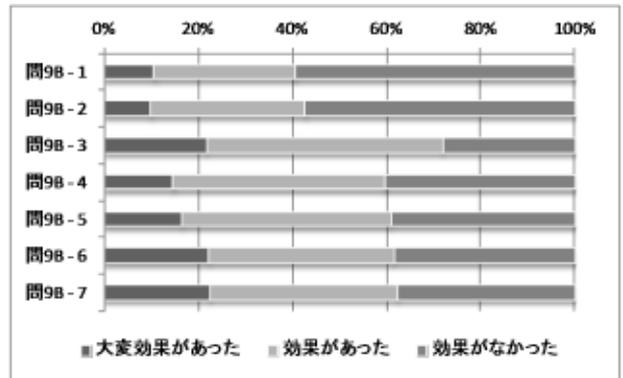
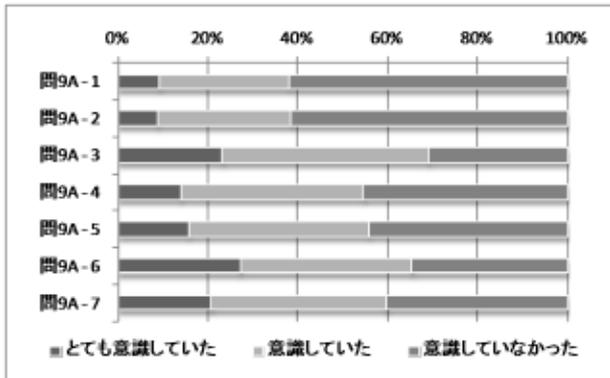
2年生



3年生



全体



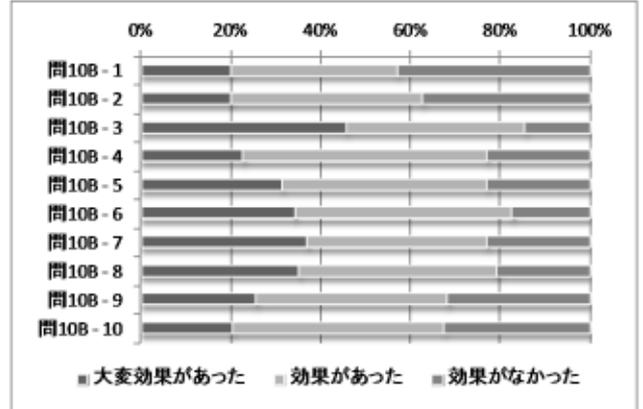
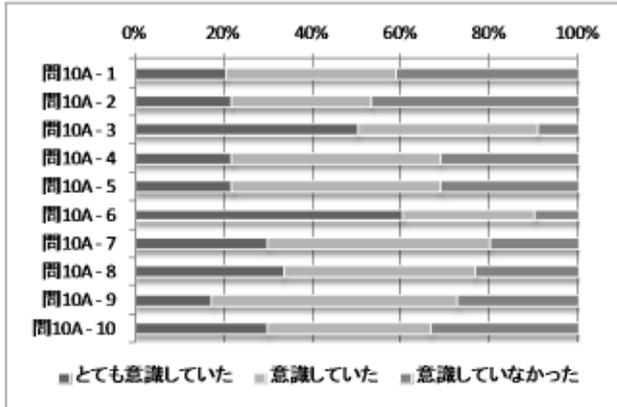
質問項目 10) (フォーラム委員対象) アジア高校生フォーラムについて、教えてください。

A. アジアフォーラムへの参加にあたって、以下のような利点を事前に意識していましたか。

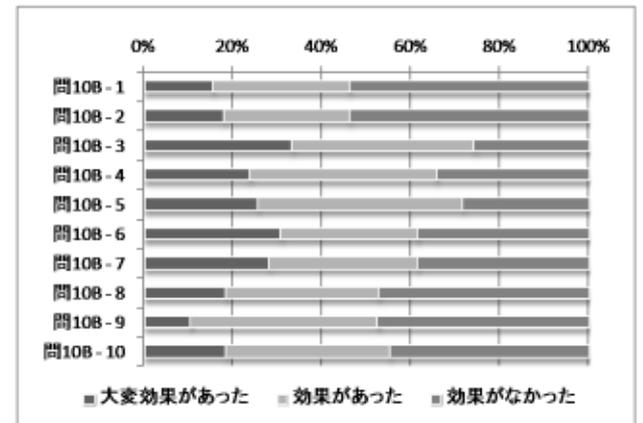
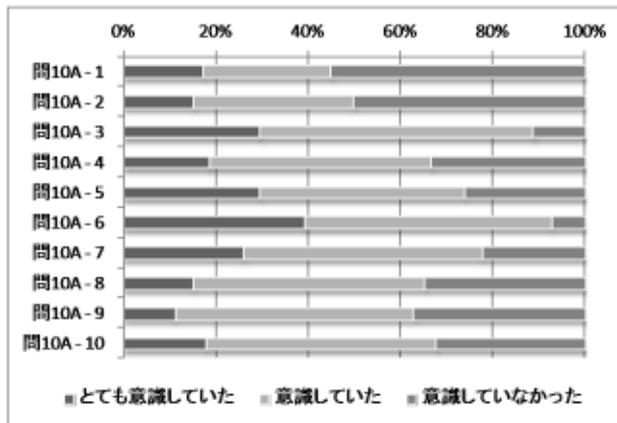
B. アジアフォーラムに参加した結果、以下の点で効果がありましたか。

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| (1) 大学進学などの志望分野探しに役立つ | (2) 将来の職業選択などについての指針が見つかる |
| (3) 国際的な視野が広がる (考え方・世界観・倫理観など) | |
| (4) 地域の良さや問題点など自分たちを見直す契機になる | |
| (5) 海外の研究動向や社会動向等、情報収集の幅が広がる | (6) 英語の活用能力が向上する |
| (7) 学習意欲の向上につながる | (8) JICA や和歌山大学などの研修プログラムに参加できる |
| (9) 発表テーマに関する研究活動に参加できる | (10) プレゼンテーション能力の向上に役立つ |

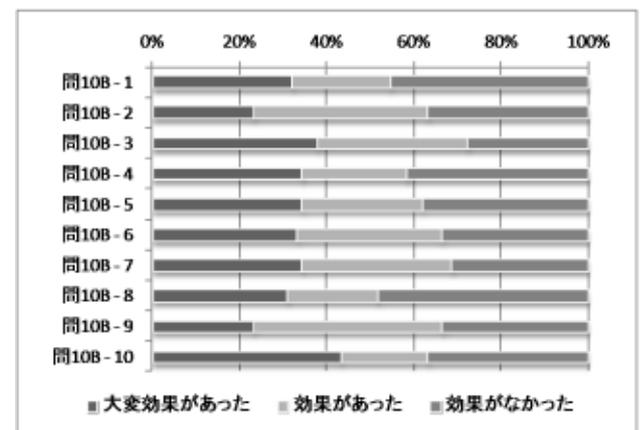
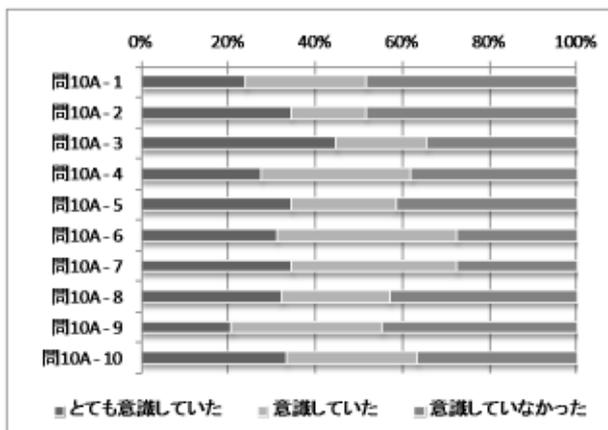
1年生



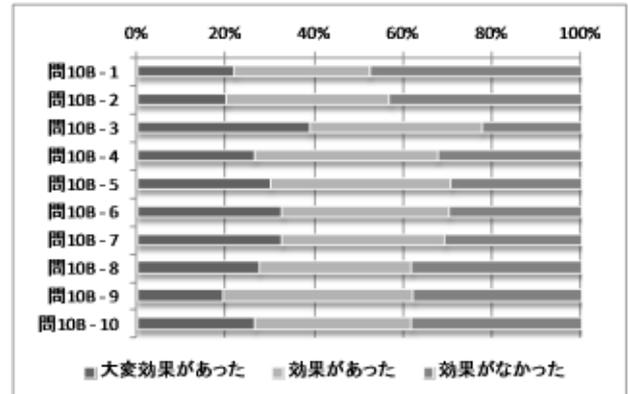
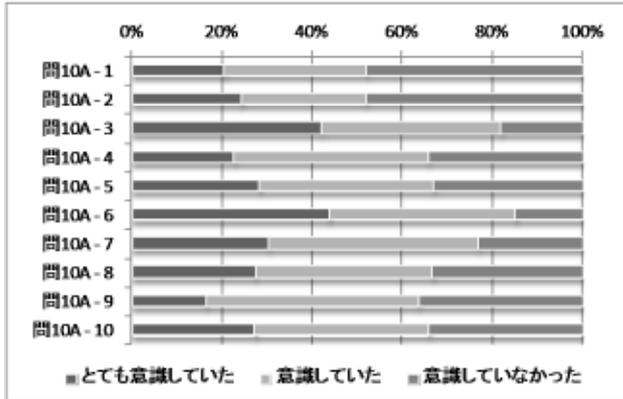
2年生



3年生

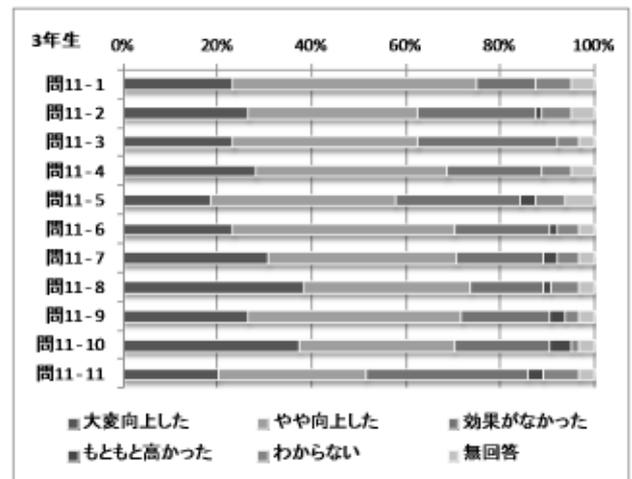
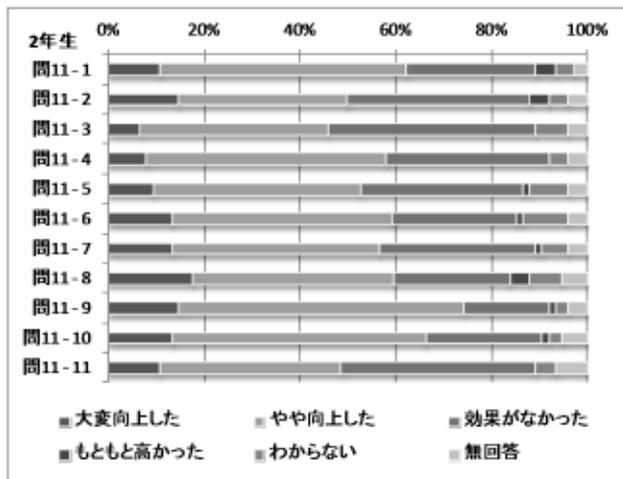


全体



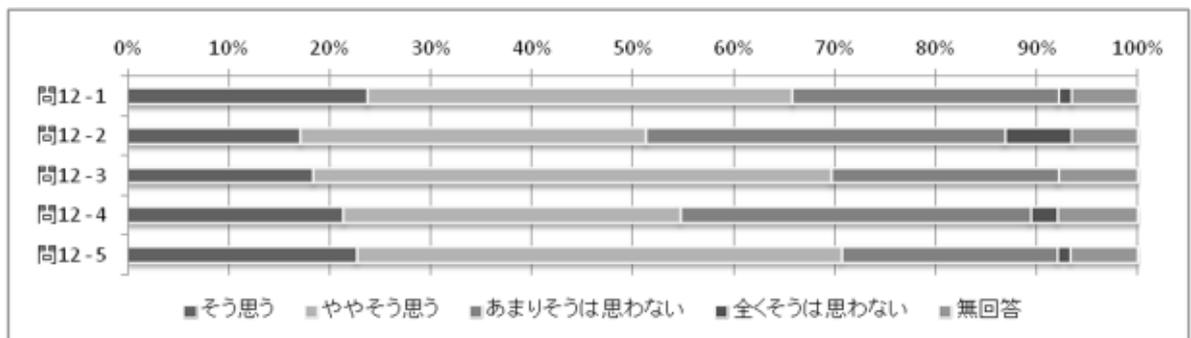
質問項目 11) (2・3年生のみ)課題研究について、次の項目は向上しましたか。

- (1) 未知の事柄や科学技術、理科・数学の理論・原理への興味(好奇心)
- (2) 理科実験や自然観察・観測などへの興味
- (3) 地域の自然や歴史、社会などへの興味・関心と理解
- (4) 学んだ事を応用することへの興味
- (5) 独自のものを創り出そうとする姿勢(独創性)
- (6) 発見する力(問題発見力、気づく力)
- (7) 問題を解決する力
- (8) 真実を探って明らかにしたい気持ち(探究心)
- (9) 考える力(洞察力、発想力、論理力)
- (10) 成果を発表し伝える力(レポート作成、プレゼンテーション)
- (11) 国際性(英語による表現力、国際感覚)



質問項目 12) (1年生のみ)白浜の京都大学瀬戸臨海実験所 水族館実習について

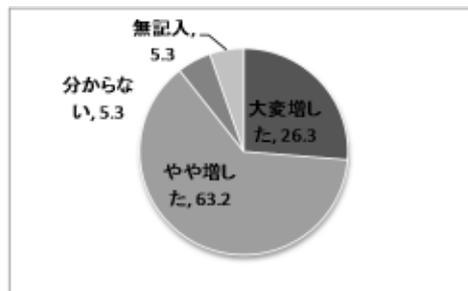
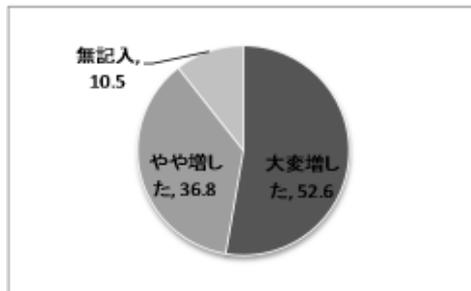
- (1) 研修や講義内容を通して、科学に対する興味・関心が高まった。
- (2) 研修や講義内容を通して、科学的に探求する意欲が高まった。
- (3) 研修や講義内容を理解できた。
- (4) 研修や講義内容を通して、学問・研究・国際性・職業などの点で視野が広がった。
- (5) 研修や講義内容を有意義に感じた。



B) 教員意識調査

質問項目 1) SSHの取組に参加したことで、生徒の科学技術に対する興味・関心・意欲は増したと思いますか。

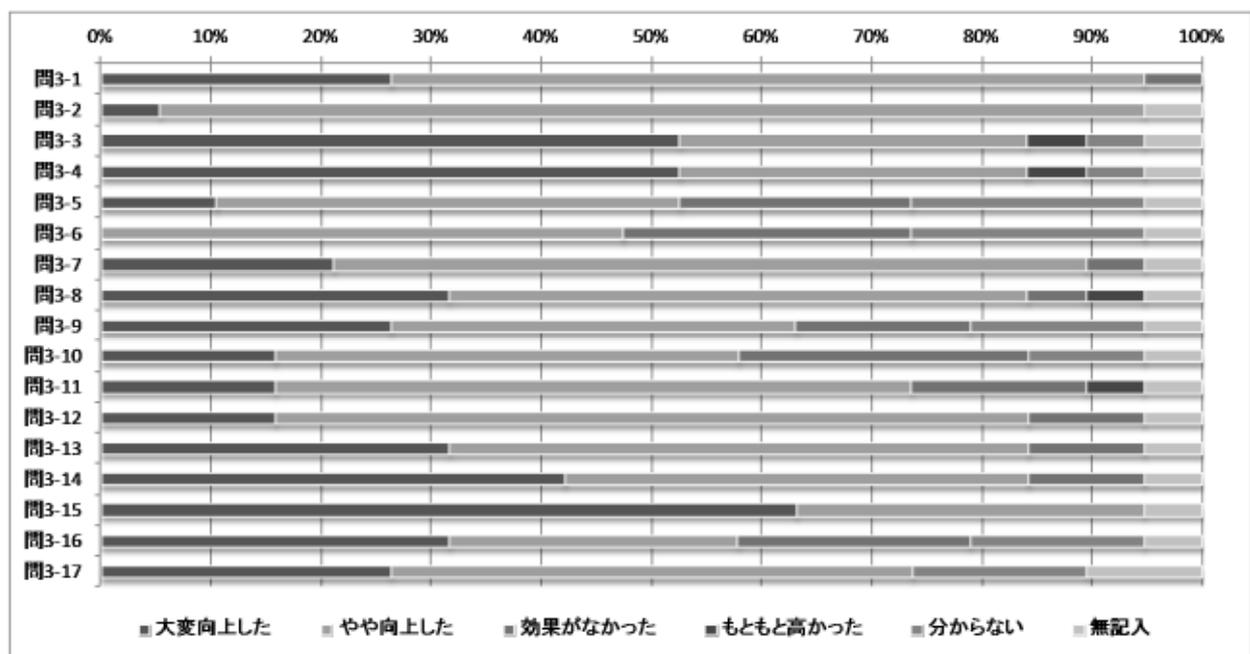
質問項目 2) SSHの取組に参加したことで、生徒の科学技術に関する学習に対する意欲は増したと思いますか。



- | |
|------------|
| ① 大変増した |
| ② やや増した |
| ③ 効果がなかった |
| ④ もともと高かった |
| ⑤ わからない |

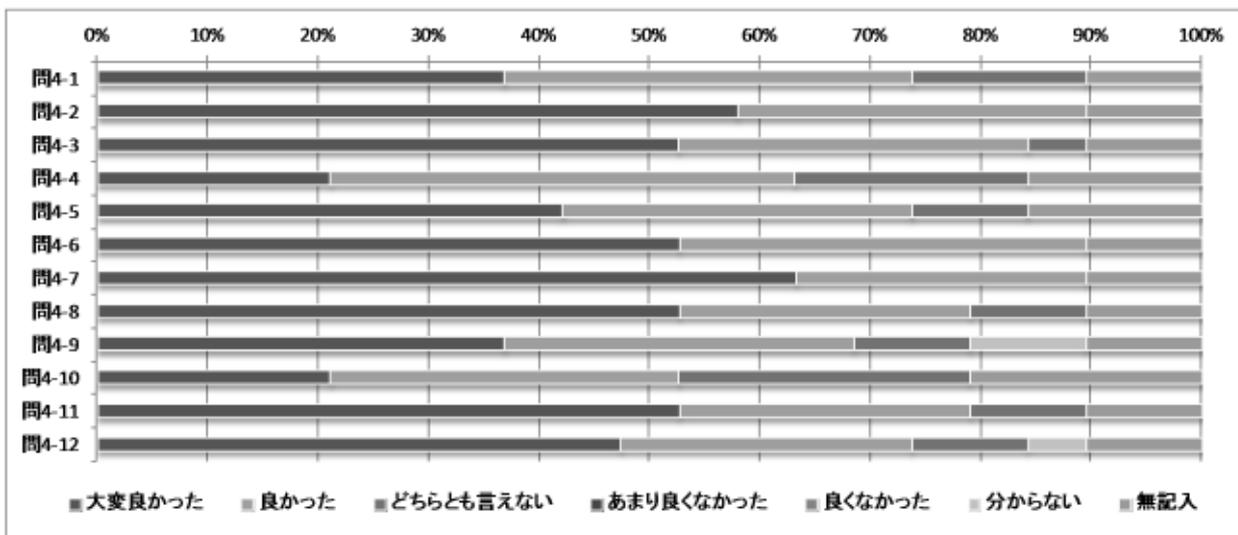
質問項目 3) SSHの取組に参加したことで、生徒の学習全般や科学技術、理科・数学に対する興味、姿勢、能力が向上したと感じますか。(1)～(17)のそれぞれについて、選択肢の中から1つずつ選んでマーク)

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------|
| (1) 未知の事柄への興味 (好奇心) | (2) 科学技術、理科・数学の理論・原理への興味 |
| (3) 理科実験への興味 | (4) 観測や観察への興味 |
| (5) 学んだ事を応用することへの興味 | (6) 社会で科学技術を正しく用いる姿勢 |
| (7) 自分から取組む姿勢 (自主性、やる気、挑戦心) | (8) 周囲と協力して取組む姿勢 (協調性、リーダーシップ) |
| (9) 粘り強く取組む姿勢 | (10) 独自のものを創り出そうとする姿勢 (独創性) |
| (11) 発見する力 (問題発見力、気づく力) | (12) 問題を解決する力 |
| (13) 真実を探って明らかにしたい気持ち (探究心) | (14) 考える力 (洞察力、発想力、論理力) |
| (15) 成果を発表し伝える力 (レポート作成、プレゼンテーション) | (16) 自然や歴史、問題点など、地域に対する関心と理解 |
| (17) 国際性 (英語による表現力、国際感覚) | |

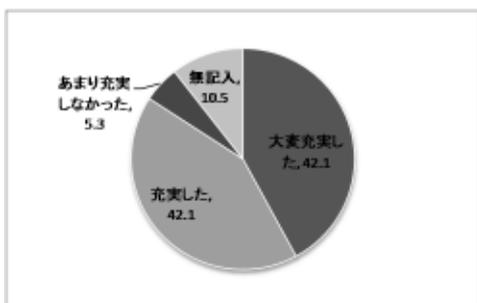


質問項目 4) 次の取り組みは、生徒に効果があったと思いますか。

- (1) 科学者や技術者の特別講義・講演会
(和高専・東京学芸大学・京都大学・光科学研究所・JT 生命誌館・アサヒプリテックなど)
- (2) 大学や研究所、企業、科学館等の見学・体験学習
(京都大学瀬戸臨海実験所〈白浜水族館〉・光科学研究所・JT 生命誌館・芝島浄水場など)
- (3) 課題研究 (自校の教員や生徒のみとの間で行うもの)
- (4) 理数系コンテストへの参加
- (5) 観察・実験の実施
- (6) フィールドワーク(野外活動)の実施 (白浜臨海・課題研究・クラブなど)
- (7) プレゼンテーションする力を高める学習(課題研究・総合学習・アジアフォーラムなど)
- (8) 英語で表現する力を高める学習(アジアフォーラム・デンマーク研修・課題研究など)
- (9) 他の高校の生徒との発表交流会 (和歌山県生徒研究発表会・〈横浜〉生徒研究発表会・クラブなど)
- (10) 科学系クラブ活動への参加
- (11) 海外の生徒との発表交流会(アジアフォーラム・デンマーク研修など)
- (12) 海外の生徒との共同課題研究(デンマーク研修・アジアフォーラムなど)



質問項目 5) SSHの取組に参加したことで、学校の科学技術、理科・数学に関する先進的な取組が充実したと思いますか。

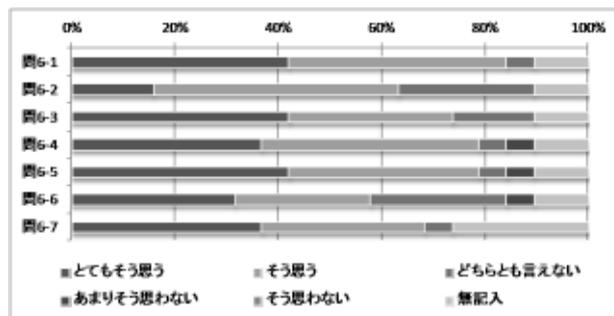


- | | |
|--------------|--|
| ① 大変充実した | |
| ② 充実した | |
| ③ どちらとも言えない | |
| ④ あまり充実しなかった | |
| ⑤ 充実しなかった | |

質問項目 6) SSHの取組を行うことは、下記のそれぞれの項目において影響を与えますか。

(1) ~ (7) のそれぞれについて、選択肢の中から1つずつ選んでマーク

- (1) 生徒の理系学部への進学意欲に良い影響を与える
- (2) 新しいカリキュラムや教育方法を開発する上で役立つ
- (3) 教員の指導力の向上に役立つ
- (4) 教員間の協力関係の構築や新しい取組の実施など学校運営の改善・強化に役立つ
- (5) 学校外の機関との連携関係を築き、連携による教育活動を進める上で有効だ
- (6) 地域の人々に学校の教育方針や取組を理解してもらう上で良い影響を与える
- (7) 将来の科学技術人材の育成に役立つ



C) 「学校評価」におけるSSHへの評価(全教職員対象)

- 73 理数科目などについて、中学校・高等学校で実施する教育課程の検討と授業研究
- 74 中高の連続性を意識した探究活動の実施・・・実験科学(中学3年生は高校教員が担当)・課題研究Ⅰ(中学卒業研究 理科分野は高校教員がサポート)・課題研究Ⅱ(高校)
- 75 課題研究・クラブ活動・デンマーク訪問・アジアフォーラムなどでの生徒研究の推進
- 76 生徒研究発表会(全国)・和歌山県生徒研究発表会などでの研究成果の発表
- 77 フレデリクスハウン高校との交流(事前に設定した共通テーマについての研究・発表と現地での学習)
- 78 アジア高校生フォーラム(10/17～)の開催・運営
- 79 アジアフォーラムに伴う各種研修の実施(JICA 関西・和歌山大学など)
- 80 アジアフォーラムにおけるテーマ研究・ビデオ作成と発表
- 81 京大瀬戸臨海実習所(白浜)研修・名田海岸実習など県内の自然を活かした研修の実施
- 82 特別講義(東京学芸大学・JAMS TECなどの外部講師による)や校外研修(光科学研究所・アサヒプリテックなど)の実施
- 83 各種コンクール(きのくに科学オリンピック・物理生物オリンピックなど)への参加
- 84 各種大会(缶サット・レゴロボット・学生科学賞など)への参加
- 85 ホームページ・マンスリータイムズなどでの情報発信
- 86 地域への研究成果の普及
- 87 SSH委員会事務局会議の定例開催など校内体制の確立
- 88 総合評価

【評価の尺度 5 最上位の評価(しっかりできている) 4 上位の評価 3 下位の評価
 2 最下位の評価(全くできていない) 1 評価できない)
 グラフでは、左側から 5・4・3・2・1を示す】

